

北上川ダム統合管理事務所 渇水警戒体制へ移行

～ 利水関係機関とのさらなる連携と御所ダムの貯水率低下に伴う対応について ～

「大切な一滴 限りある水 みなで一層の節水を！」

令和7年7月30日(水)9時現在、北上川ダム統合管理事務所所管の『御所ダム(北上川水系雫石川)』において貯水率(利水容量)が著しく低下しています。

御所ダムにおいては、6月から7月にかけての少雨の影響を受けながらも、下流域の利水補給に努めてきましたが、その後も長期間に渡りダム流域にまとまった降雨が無いことが原因となり、貯水位が『最低水位』にまで低下する見込みとなったことから、本日12時0分に『渇水対策支部(注意)体制』を『渇水対策支部(警戒)体制』に移行します。

なお、御所ダムにおいて最低水位に至った後も、農業用水、工業用水等への影響を最小限に抑えるため、御所ダム利水関係者で構成された『雫石川御所ダム渇水対策協議会』の構成機関からの合意のもと、緊急的な対応として『最低水位以下に貯留された流水』を使用してダムから放流を継続します。(別紙参照)

ダム流域では、今後もまとまった降雨が見込まれないことから、引続き、関係機関と連携しながら渇水対応に努めて参ります。

また、事務所WEBページでは、北上川上流五大ダムの貯水率等のリアルタイム情報や渇水対応状況について確認できます。

1. 北上川上流五大ダムの状況 (令和7年7月30日(水)午前9時時点)

- ①四十四田ダム(盛岡市) 貯水位 EL.158.78m 貯水率(利水容量) 78.0%
- ②御所ダム (盛岡市) 貯水位 EL.172.32m 貯水率(利水容量) 5.4%
- ③田瀬ダム (花巻市) 貯水位 EL.195.32m 貯水率(利水容量) 71.9%
- ④湯田ダム (西和賀町) 貯水位 EL.217.65m 貯水率(利水容量) 35.3%
- ⑤胆沢ダム (奥州市) 貯水位 EL.322.74m 貯水率(利水容量) 37.2%

2. 御所ダムにおける最低水位以下に貯留された流水を使用した放流

開始想定時刻：令和7年7月31日(木) 4時(予定)

※放流開始は御所ダムの貯水位が最低水位に至った段階から開始のため
状況により放流開始時刻が前後する可能性があります。

なお、放流に伴う治水上の影響はありません。

○北上川上流五大ダムにおける渇水対応状況について

URL：<https://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/07info/kassuitaio/index.html>

バナー：



北上川ダム統合管理事務所トップページのバナーをクリック

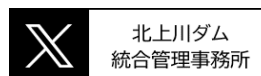
○北上川上流五大ダムリアルタイム情報

URL：<http://www2.thr.mlit.go.jp/kitakato/02real/index.html>

○北上川ダム統合管理事務所 X

URL：https://x.com/mlit_kitakato

北上川ダム統合管理事務所のXにも投稿しています



発表記者会：岩手県政記者クラブ、北上記者クラブ、花巻記者クラブ、奥州市政記者クラブ

<問い合わせ先>

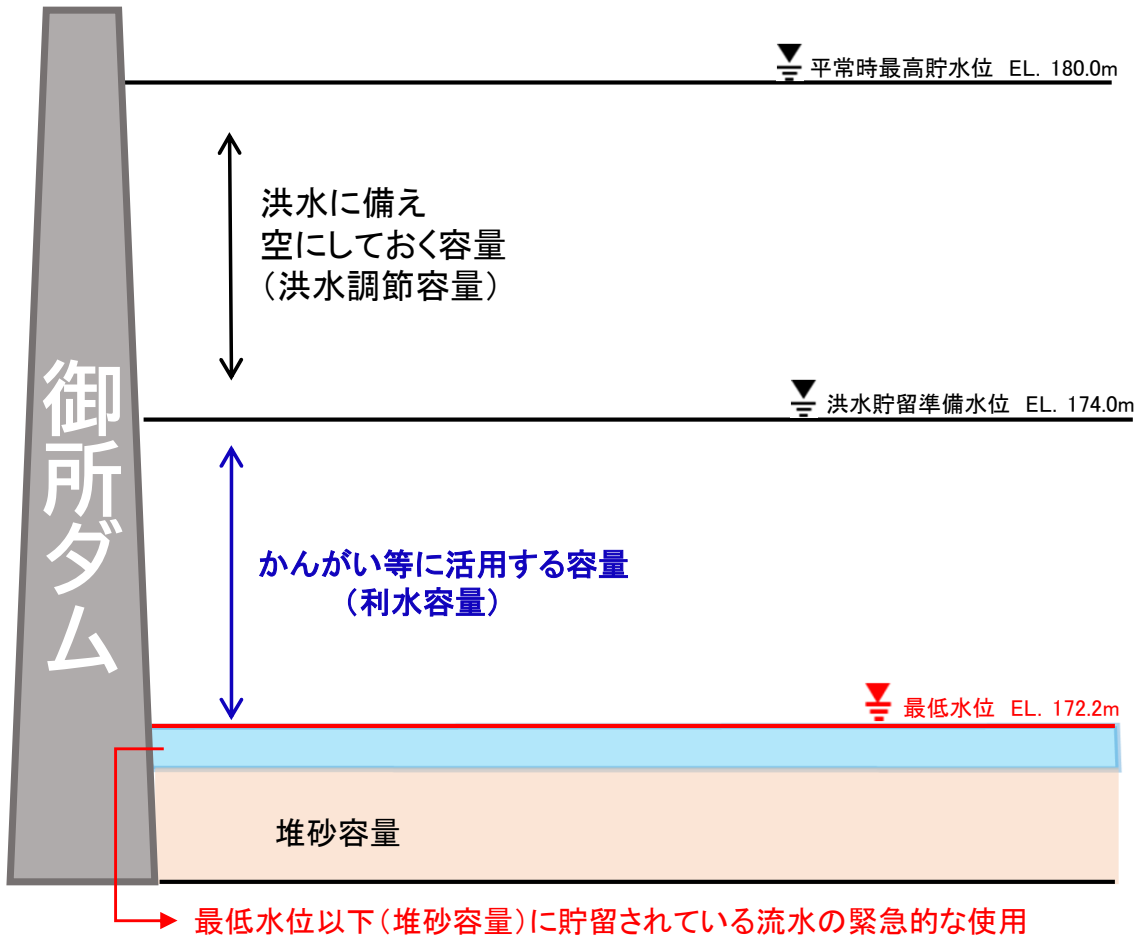
国土交通省 北上川ダム統合管理事務所(代表019-643-7831)

副 所 長 菊池 真樹
管理第一課長 加藤 一典

【北上統管】御所ダムにおける渇水対応について

北上川ダム統合管理事務所所管の御所ダムでは6月から7月の少雨の影響により、ダム貯水率が低下し最低水位172.2mに到達する見込みとなったことから、御所ダム利水関係者で構成された「雫石川御所ダム渇水対策協議会」の構成機関からの合意のもと、『最低水位以下に貯留された流水』を使用してダムからの放流を継続します。

『最低水位以下に貯留された流水』を使用したダムからの放流概要



最低水位より下は、「**堆砂容量**」であり、通常は最低水位まで低下した場合、**ダムからの補給が不可能**となります。

御所ダムでは、下流の利水被害を最小限に抑えるため、『**最低水位以下(堆砂容量内)に貯留された流水**』を使用してダムからの放流を継続します。

堆砂容量とは、ダムの計画上であらかじめ土砂が貯まることを想定して設けられた容量であり、ここに貯留された流水は利水等への使用が想定されていないものとなります。

今回、御所ダムにおいては緊急的な措置として関係利水者からの合意のもと使用するものです。

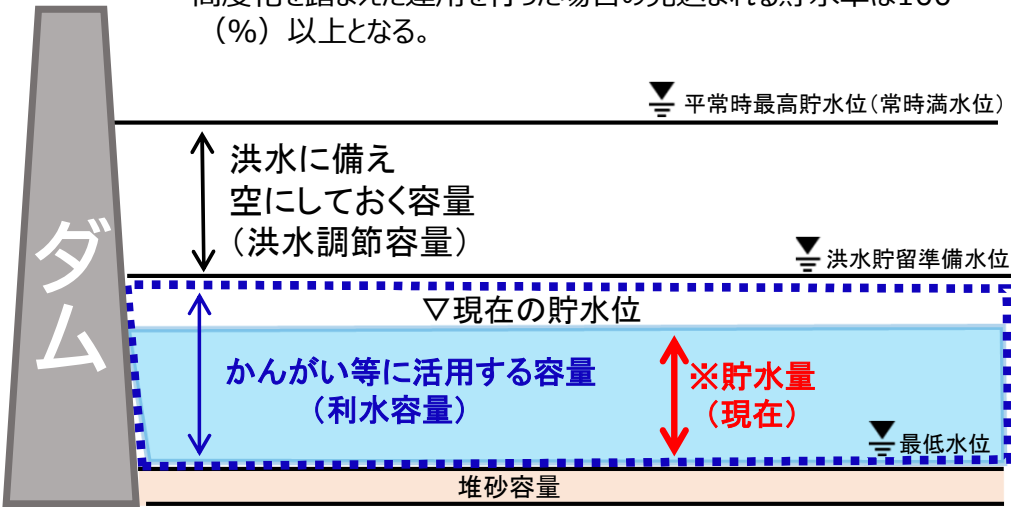
【北上統管】北上川上流5大ダムにおける渇水対応状況について(7月30日9時時点)

■貯水率の解説

「貯水率」とは、ダムに貯められる容量（**利水容量**）に対する**実際の貯水量の割合**。

$$\Rightarrow \text{貯水率 (\%)} = \frac{\text{貯水量 (現在)}}{\text{利水容量}}$$

- ・貯水率100 (%) で満杯
- ・高度化を踏まえた運用を行った場合の見込まれる貯水率は100 (%) 以上となる。



■各ダムにおける対応状況

【北上統管】

7月24日(木) 渇水対策支部(注意体制)設置

【四十四田ダム】

流況を注視しながらダムを運用中

【御所ダム】

7月28日(金) 一部地域でかんがい用水の取水制限を開始

7月28日(月) 雫石川御所ダム渇水対策協議会 幹事会 開催

7月29日(火) 雫石川御所ダム渇水対策協議会 開催

【田瀬ダム】

流況を注視しながらダムを運用中

【湯田ダム】

7月28日(月) 湯田ダム渇水情報連絡会議 開催

7月25日(金)、28日(月)

一部地域でかんがい用水の取水制限を開始

【胆沢ダム】

7月25日(金) 胆沢ダム利水協議会 開催

ダム名	直近5ヶ年の平均値 (令和2～6年7月30日9時 時点 平均)		令和7月7月30日9時 時点		備考
	貯水位 (m)	貯水率 (%)	貯水位 (m)	貯水率 (%)	
四十四田ダム	158.59	59.0	158.78	78.0	最低水位：158.0m ※四十四田ダムはかんがい補給なし
御所ダム	173.81	87.2	172.32	5.4	最低水位：172.2m
田瀬ダム	197.08	100.0	195.32	71.9	最低水位：190.0m
湯田ダム	221.20	88.1	217.65	35.3	最低水位：215.0m
胆沢ダム	340.61	91.1	322.74	37.2	最低水位：304.0m